

日欧ミーティング 渋谷川魂

モンスターとなった渋谷川
ドイツの若者たちにはどう見えた
「渋谷川魂はどこへ行ったのか」「都市の変革はどうあるべきか」
と問いかける
東京に住む私たちにとって「渋谷川魂」とは何か

シンポジウム「川のエコヒストリーとスピリチャリティ」 ～江戸東京の都市構造と精神性～

シンポジウム趣旨

川は生態系として生きた自然であり、渋谷川・古川は江戸東京の骨格を形成する重要な川である。江戸市中の西南部の境界を劃した川であり、上中流部はのどかな田園で、東京湾に注ぐあたりは、舟入りがあり、江戸湊の一部として荷揚げや河岸が栄え、武家屋敷も多く立地した。

渋谷川については、これまでに多くの社会的、文化的な問いかけがなされてきた。文学やアート、アニメの題材としても取り上げられてきた。これをあらためて国際都市東京の地球環境時代における課題として受け止め、渋谷川の歴史、文化、環境を探り、未来に向けた都市の生態学的再生の展望を語り合いたい。

日時：2022年8月11日（木）10：00～17：00

会場：青山学院大学14号館12階大ホール

対面・オンライン併用

事前申込制*対面参加の場合も申し込みが必要です



<シンポジウム会場>
青山学院大学14号館(総合研究所ビル)

ワークショップ・展示会「渋谷川モンスターを探る」

日時：2022年8月1日（月）～8月10日（水）

会場：渋谷川・古川流域

ワークショップ趣旨

渋谷川とその支流を歩く。湧水や幾多の神社仏閣や名園を訪ね、界隈を歩き、地下に潜った春の小川に思いを寄せる。渋谷駅地下の渋谷川や再生された渋谷ストリームを歩き、高速道路下の古川となって東京湾に注ぐ風景を体感しよう。ドイツの若者の目にモンスターと映った渋谷川。渋谷川の魂を読み解こう。

山の手住宅地コミュニティのモザイク型組織
(河原一郎+法政大学河原研究室1967年)

主催：法政大学(江戸東京研究センター+エコ地域デザイン研究センター)、

青山学院大学総合文化政策学会

共催：ドイツバイエルン州駐日代表部、DWIH TOKYO(ドイツハウスオブイノベーション)、

ヴェルサイユ国立建築学校、emergent.lab

後援：渋谷区、東京都、国土交通省、ドイツ大使、イタリア大使館

協力：国連大学、國學院大学、NPO法人渋谷川ルネッサンス、NPO法人雨水まちづくりサポート、

シブヤ大学、東京都建設局河川部、渋谷区観光協会、東急(株)、筒井国際特許事務所

シンポジウム「川のエコヒストリーとスピリチャリティ」 プログラム

8月11日(木)

10:00 主催者挨拶:陣内秀信(法政大学特任教授)、宮澤淳一(青山学院大学総合文化政策学会長)

10:20 基調講演1:「江戸東京の川と妖怪」横山泰子(法政大学教授)

10:50 基調講演2:「ドイツのエコシティ計画における河川の生態学的復活と水管理」

エクハルト・ハーン(ドルトムント大学教授)

11:20 報告:「渋谷川魂／都市の変革」WS報告他

ピプ・ハイエ+ウォルフラム・マイナー (ミュンヘン工科大学建築・都市開発科修了)

セシル・カーマイディク(ヴェルサイユ国立建築学校修了)

11:40 コメント:マティアス・アーマンガード(ヴェルサイユ国立建築学校教授)

13:00 昼食

14:00 リレートーク;タイトルは仮

①「渋谷川の景と観」:西村幸夫(國學院大學教授)

②「水と地域の霊性」:彦根アンドレア(A.H ARCHITECTS)

③「渋谷リバー 스트リートのにぎわいづくりと國學院大學」:田原裕子(國學院大學教授)

④「江戸東京の構造と渋谷川」:神谷 博(法政大学エコ地域デザイン研究センター客員研究員)

休憩

⑤「川から見たテリトリー」:陣内秀信(法政大学特任教授)

⑥「渋谷川流域のグリーンフラ」:福井恒明(法政大学教授)

⑦「渋谷川とその界隈の音風景」:鳥越けい子(青山学院大学教授)

15:30 休憩

15:45 パネルディスカッション:「渋谷川魂の蘇生とは」

コーディネーター:神谷 博

パネリスト:登壇者全員

閉会挨拶

まち歩き+ワークショップ

8月1日:宇田川ルート

+キックオフイベント(於:青山学院大学アスタジオ)

8月2日:隠田川ルート

8月3日:渋谷リバー 스트リームルート

8月4日:いもり川ルート

8月5日:古川ルート

8月6日:明治神宮ルート

8月10日:WSまとめ

展示会+イベント

作品募集:渋谷川モンスターを描いてみよう

応募期間:7月12日~7月31日

日欧交流「渋谷川モンスター展」

日時:8月10日(水)

会場:国連大学1階アネックステラス

記念講演:マティアス・アーマンガード他

*ヴァーチャル会議場「SIBUMON CC」

会期中、ヴァーチャル会議場が併設され、資料展示や交流会などが開かれます

下町住商工混合地コミュニティのモザイク型組織
(河原一郎+法政大学河原研究室1967年)

事務局:法政大学江戸東京研究センター

問合せ先: suikei@jcom.zaq.ne.jp 神谷

8月11日のシンポジウムの
会場参加定員は先着40名となります

お申し込みはこちら

